



社団 法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025



あべ弘士 『エゾオオカミ物語』 絵本原画

2008年 グワッシュ、クレヨン・紙 26.5cm×70.5cm他 (17点組) <北海道立旭川美術館蔵>

あべ弘士は、旭川在住の絵本作家です。1948年に旭川に生まれ、1972年に旭川市旭山動物園の飼育係となりました。数年後、旭川のタウン誌に絵と文章による連載を始め、1989年には雑誌「かがくのともー雪の上のどうぶつえん」(福音館書店)を出版しました。

以後、絵本制作に力を入れるようになり、今日までに120冊を越える絵本やエッセイなどを刊行してきました。また、仲間とともに旭川市内に児童書専門店「こども富貴堂」を興し(1988年)、旭川と隣接する鷹栖町とにまたがる嵐山のゆたかな自然を見守る「嵐山ビジターセンター」を設立する(1989年)など、地域の児童文化振興や自然保護活動にも重要な役割を果たしています。

この作品は、2008年に講談社が創立100周年を記念して出版した絵本『エゾオオカミ物語』(あべ弘士作・絵)の原画です。あべ弘士が旭山動物園の施設「オオカミの森」に描いた壁画をさらに展開させて制作しました。力強く勢いのある線やタッチ、深みのある色彩表現など、作者の資質が存分に発揮された絵画としての魅力に富むとともに、北海道におけるオオカミの絶滅というテーマによって人間と動物あるいは自然との関係を深く考えさせます。すでに国内で高い評価を得ている道北ゆかりの作家の力作として、旭川美術館ボランティア常磐会が購入し、美術館に寄贈してくださいました。

(北海道立旭川美術館学芸課長 中村聖司)

記念式典・祝賀会の開催

法人設立30周年記念式典・祝賀会が、平成二年一〇月二七日に近美講堂および一階ホールにて開催されました。式典は主催者の挨拶、来賓からの祝辞に引き続き、感謝状の贈呈並びに永年協力者への表彰・記念品の贈呈が行われ、二十五年以上の理事三名と、二〇年以上一六名および一〇年以上五九名のボランティア活動員が表彰されました。

祝賀会は、相馬道立近代美術館長の祝杯で幕を開け、和やかなにも今後のさらなる発展を願いながら、盛大に三〇周年を祝いました。

吉野次郎会長挨拶(要旨)

社団法人北海道美術館協力会が法人設立30周年を迎える、各界のご来賓のご臨席を賜り記念式典を開催することは、会員一



吉野会長挨拶

同にとつてこの上ない喜びであります。

本日の式典にあたり、永年にわたり美術館協力会のために献身的なご尽力を続けてくださった方々を表彰し、敬意を表します。合わせてこの30年間、協力を支えて下さった会員各位、先輩の理事、ボランティア活動員の方々に対しても深く感謝申しあげます。

道立近代美術館の誕生に合わせて、民間の協力会の組織化が検討され、昭和五二年六月に設立、昭和五四年には社団法人として認可され、本年30周年を迎えました。発足当初は解説、売店の二部でスタートしたボランティア業務も年々多様化し、現在では七部体制で日常活動を発展開しております。

今年は、本記念式典・祝賀会のほか、ミュージアム・バスツアーや、小中学生への美術館啓蒙のための催しなど、様々なイベントを企画、実施してまいりました。近年、近代美術館をはじめ道内の美術館は極めて厳しい財政状況で苦難の道を強いられており、当協会も、今後に向けて会員数の確保、財政の問題、日常のボランティア活動の在り方など、課題が山積みしております。

す。私どもは社会の変貌にも柔軟な考え方を持つて対処し、より良い、より役に立つ社会奉仕の道を選択していかなければならぬと考えております。

本日ご臨席の関係各位のご指導、ご鞭撻を頂きながら、新たな北海道美術館協力会の在り方を真摯に考え、行動を起こしていく決意であります。

社団法人 北海道美術館協力会

立30周年記念事業

組織化され、昭和54年8月には社団法人として認可を受けた協力会は、法人設立30周年の節目の年を迎え、様々な記念事業を展開しました。



相馬近美館長の祝杯音頭



長年の活動に感謝して



高向北海道商工会議所連合会会頭の祝辞



受付の美女たち



近代美術館講堂

ジュニア・アートクラブ

2009の開催

一一月一四日、(財)札幌市青少年女性活動協会の協力を得て、八四名の小学生が参加して、賑やかに開催。



上手にできるかな?



みんながんばったよ!



札幌市立中の島小学校のみなさん

北海道造形教育連盟との共催により、一〇月一六日に札幌市立中の島小学校の六年生八三名、一一月一二日には、あいの里東中学校美術工芸部の生徒一五名を招待し、常設展やルオー展の鑑賞授業を実施。

こどもの美術館への招待



講師のお二人



どうやって作ったのかな?



特集 法人設

昭和52年に
平成21年、



札幌市立あいの里東中学校のみなさん



Musée Kéou Nishimura
西村計雄記念美術館

西村計雄記念美術館



羊蹄山もお出迎え



おひなまつり呈茶席
茶道裏千家淡光会の協力により、三月三日、二〇〇名にお茶とお菓子を提供。吉野会長も参加されました。

ミュージアム・バスツアーの実施

美術館めぐりの第一回目は、六月三～四日および六月六～七日の二班に分かれ、十勝の美術館巡りを実施。第二回目は、九月二七日に西村計雄記念美術館など、後志地方の美術館巡りを実施。



近代美術館

「創造と回帰 現代木彫の潮流」展

九月一一日(土)～十月一七日(日)

現在の日本ではすぐれた木彫作家が多数活動しています。本展は、作家の素材への取り組み方によつて千変万化する木彫の魅力を広く紹介します。

出品作家は、現代日本美術の動向に大きな影響を与えた「もの派」の小清水漸、菅木志雄、それ以降に次々と登場した戸谷成雄、舟越桂、神山明、保田井智之などの新世代の木彫家たち、さらにその次世代で今世紀を担う三沢厚彦、三宅樹など若手木彫家まで幅広い内容です。また異色の作風で知られる大平實、砂澤ピッキも出品

します。出品作品は、北海道立旭川美術館、旭川市彫刻美術館のコレクションに、新世代の木彫作家たちの作品を加え、現代の木彫の動向をアクトライブに伝える内容です。個性的な作家たちが織りなす木彫の世界は、私たちに何を問いかけてくるでしょうか。



神山 明 《たしかこのあたりだと思う》
1984年 北海道立旭川美術館蔵

三岸好太郎美術館

特別展 「日本近代洋画と 三岸好太郎 Part 2」

九月一一日(土)～一〇月一四日(日)

三岸作品とともに彼に影響を与えた巨匠達の作品などをあわせて紹介し、日本近代美術のダイナミックな動きの中に三岸の魅力を再発見します。

昨年のPart 1に続く今年のPart 2では、三岸の画業のクライマックスともいえる、晩年の前衛画風への転換から蝶と貝殻の世界を中心ご紹介します。あの有名な「海と射光」をはじめ晩年の秀作のほか、三岸と深く交流した福沢一郎、山脇巖の作品もあわせてご覧いただけます。



三岸好太郎 《海と射光》
1934年 福岡市美術館蔵

函館美術館

長谷川溝一郎展

八月二八日(土)～一〇月一七日(日)

「伝説の」画家・長谷川溝一郎(一九〇四～一九八八)の画業に、いま新たな光があたります。

函館に生まれ、ほとんど独学で絵画の道に進んだ長谷川溝一郎は、昭和初期の渡仏の後、静謐で詩的幻想性を帯びる、独特的の作風をかたちづくっています。約半世紀にわたり溝一郎の描く絵画世界は、穏やかな風景、卓上静物など、平明で温厚な写実表現ながらも、どこか現実を超えた白日夢や幻視のように、見る者に忘れがたい印象を残し続けます。



《猫》 1966年 宮城県美術館蔵

旭川美術館

片岡球子展

六月五日(土)～七月二十五日(日)

本展は、昨年に画家が逝去してから、北海道では初の大規模な回顧展です。四月二四日に札幌芸術の森美術館で開会し、六月に当館で開催します。院展初入選作から伝統芸能や火山、面構、裸婦の連作まで、道内外の美術館等から、代表的な大作約五〇点を一堂に集めて展覧します。

「人が私の絵を見たら息が詰まるというような、そういう迫力の絵を描きたい」という画家の言葉通り、展示室いっぱいに迫力溢れる絵画世界が広がり、個性ゆたかな造形力はもちろん、それを培った八〇年に渡る真摯な歩みをご覧いただけます。



《火山(浅間山)》 1965年
神奈川県立近代美術館蔵

また、今回はスケッチも見所の一つです。催二館の学芸員が、膨大なスケッチブックから主題や年代で絞り込んだ約三五〇枚を調査し、選りすぐった北海道風景等二七点を道内初公開します。そこには画家の息づかいや感動が直に表れています。初夏の旭川で、片岡芸術の精華を心ゆくまでご堪能ください。

美術団体には所属せず、独自の画境を深め続けた生涯は、納得いくまで観察しないと描かない寡作と逞筆、孤高・脱俗の制作姿勢ともあわせ、日本の近代洋画史のかたでも異色の存在として、あらためて注目を集めています。本展は、長谷川溝一郎の画業を、初期から晩年までの二二〇点以上の秀作によって回顧し、その独創的な世界を紹介します。

帯広美術館

旅のイメージ

栗谷川健一、藤倉英幸：

鉄路が結ぶ北海道の景色

四月二六日(金)～六月九日(水)

清涼な気候・雄大な自然・独自の歴史・豊かな文化など、魅力的なイメージで語られる北海道。これらのイメージは文学作品や映画など、さまざまなメディアによって作られ、広められてきました。なかでもとりわけ大きな役割を果たしたもののが、鉄道会社が展開した観光キャンペーンです。観光ポスターや車内誌に掲載されたイラストや写真、キヤッヂコピーは、北海道のイメージを

醸成し人々の旅情を誘つてきました。

この展覧会では、一九五〇年代から六〇年代にかけて旧国鉄の観光ポスターを数多く手がけた栗谷川健一(一九二一～一九九九)と、一九九一年よりJR北海道の車内誌の表紙を飾ってきた藤倉英幸(一九四八～)のふたりの作品を中心に、広報媒体をつうじて形成・流布された「旅」と「北海道」のイメージを探ります。



藤倉英幸 『風の踏切』
1994年 作者蔵

釧路芸術館

「レオナルド・ダ・ヴィンチのもう一つの遺産」

九月一四日(火)～一月二三日(火)



『レオナルド晩年の自画像』

さまざまな先進技術の中でも実際に生かされ、実現されてもいます。レオナルドは、画家であると同時に、まさに未来を先取りした科学技術者ともいえるでしょう。

本展では、歐米各地に伝わる各種手稿(精密複刻版)に加え、それらに基づいて再現されたヘリコプターなどの模型を約五〇点、さらにコンピューターグラフィックなどを通し、レオナルド・ダ・ヴィンチの“もう一つの遺産”を紹介いたします。

ルネサンス期のイタリアの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチ(一四五三～一五一九)は、鏡面文字で記された八〇〇〇〇ページにもおよぶ膨大な手稿やスケッチを残しています。そこには、芸術に関する記述はもとより、土木工学から建築、数学、軍事技術、解剖学、天文学、地質学、動植物学にいたるまで、広範囲な科学分野に関する研究ノートやメモ、スケッチ、発明のアイデアなどがびつりと書き込まれているのです。

こうした研究のある部分は、後の飛行機やヘリコプター、自動車、カム装置、ジャッキ、揚水機、旋盤、さらには都市計画など、さ

札幌芸術の森美術館

札幌芸術の森美術館開館二十周年記念展 北方神獣

九月七日(火)～一〇月一四日(日)

北方に棲む獣たちが放つ眼差しは、清冽で、じつに凛としています。北方特有の自然環境が、そこに棲む生き物たちの姿や生態を古来より特徴づけてきたのでしよう。

また一方で、そこに根ざす人々の生活や文化もまた、同じ自然環境を源泉として成立し、育まれてきたと言えるでしょう。本展覧会は、約六〇点の絵画作品を通じて、日本近現代の動物表現に見られるそうした北方性を検証するとともに、動物

本郷新記念札幌彫刻美術館

北海中学の糸 —どんぐり会の仲間たち—

七月三日(土)～九月五日(日)

道を両親に反対されました。最終的には東京高等工芸学校に進学しました。

本郷にとって芸術家になる契機の一つとなつた「どんぐり会」は、一九四四年に結成され、今年二月第二〇〇回展を開催した伝統ある美術部です。卒業生には画家、彫刻家など多くの芸術家がいます。

本展では、「どんぐり会」卒業生である本郷新をはじめ、染川剛一、坂垣道、そして本郷と親交のあった柄内忠男の作品をご紹介します。また、本郷の若き後輩・北海高校在校生にも作品を出品していただきます。

本郷新は札幌第一中学(現・札幌西高校)に入学しましたが、家の都合で上京し順天中学に転入しました。東京では、展覧会を見て回り、父にあたえられた油彩道具をつかって油彩画を描き始め美術への関心を深めていきます。中学三年のとき再び故郷の札幌に戻り、北海中学(現・北海高校)に転入しました。北海中学では、美術部「どんぐり会」に入部してよき指導者と仲間を得て、ますます絵画への関心を深めていきました。余市のシリバ岬に出かけて描いた風景画を「どんぐり会」展に出品しました。こうして本郷は、中学卒業後の進路を美術の道へと強く決心しましたが、画家になる



本郷 新
『わだつみのこえ幕式』
1974年

とわたしたちの関わり方について再考しようとするものです。

出品は、竹内栖鳳、西村五雲、奥村土牛、徳岡神泉、久本春雄、山口華楊、岩橋英遠、福田豊四郎、吉岡堅一、東山魁夷、佐藤太清、加山又造、今井珠泉、小山硬、竹内浩二、中野嘉之、西野陽一、河嶋淳司、猪熊佳子(以上日本画)、上野山清貢、須田国太郎、国松登、岩船修三、居串佳、小川原脩、橋本三郎、鶴川五郎、神田日勝(以上油彩画)など豪華な顔ぶれとなっています。



竹内浩一 『誘惑』 2007年 紙本彩色

MUSEUM CALENDAR

2010.4~2010.10

美術館の特別展覧会ご案内

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館		4/17~5/23 親鸞聖人750回大遺忌記念 本願寺展 —ひもとかれる壮大な歴史絵巻	5/29 6/6 北海道立体表現展'10	6/11 ~6/20 第25回記念北の日本画展	7/3~8/22 古代ローマ帝国の遺産 —栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ		9/11~10/17 創造と回帰・ 現代木彫の源流
美三岸術好太館郎		4/2~6/13 所蔵品展 第1期 三岸、東洋趣味に遊ぶ (特別展示) 知られざる三岸の水墨画・淡彩画を併催		6/18~9/5 所蔵品展 第2期 ユーモラス・三岸		9/11~10/24 特別展 日本近代洋画と 三岸 好太郎Part2	
旭川美術館	4/10 ~ 4/18 新ロマン派 65回記念 会員会友展	4/23~5/23 ピーター・ラビットの作家 ピアトリクス・ボター展		6/5~7/25 片岡球子展	8/3~9/8 旭川彫刻フェスタ 2010		9/18~11/28 ウルトラマン・アート! 時代と創造 ～ウルトラマン&ウルトラセブン～
函館美術館	1/23 ~ 4/11 好太多的 素敵なお関係 あなたに そっと伝えて みたい		(前期)4/17~5/18 (後期)5/20~6/20 ＜ルネサンスから現代まで＞ 魅せます!世界の巨匠展 レンブラント、ミレー、ムンク、シャガール…珠玉の西洋版画を中心に		7/3~8/22 琳派・若冲と雅の世界		8/28~10/17 長谷川溝二郎展
帯広美術館		4/16~6/9 旅のイメージ 栗谷川 健一、藤倉 英幸… 鉄路が結ぶ北海道の景色		6/18~8/18 日本近代洋画への道		8/28~10/24 ミロ展	
釧路芸術館		4/17~6/27 ユーモラスな光景 ～カップと石ころ(仮称)		7/6~9/5 メキシコの美術と民衆の世界		9/14~11/23 レオナルド・ダ・ヴィンチの もう一つの遺産	
美札幌芸術の館森	2/7 ~ 4/18 開館20周年記念① 芸森の名品	4/24~5/30 開館20周年記念② 片岡球子展	6/4 ~ 6/13 北海道立体表現展'10	6/26~8/29 スタジオジブリ・レイアウト展		9/7~10/24 開館20周年記念③ 北方神獣	
札幌影刻新記念館	4/10 ~ 5/9 本郷新的コレクション展	5/15~6/27 北海道立体表現展'10 作家56人の小品展		7/3~9/5 北海中學の絆 ～どんぐり会の仲間たち～		9/11~9/26 貸館 (未定)	

お便り大募集!

本誌第55号でお知らせしましたが、会員の広場「アルテピア・サロン」を開設しました。皆様からのお便りをお待ちしております。美術館や展覧会、好きな作家や作品、感激したこと、楽しかったこと、うれしかったこと、どのような内容でもかまいません。趣味や各地域での催し、あまり知られていない個人美術館の紹介、本誌への感想なども気軽に寄せください。多数の投稿をお待ちしております。

投稿規定

400字程度の文章（用紙は自由、葉書も可）、手書き、ワープロ、どちらでもよろしいですので、お名前、連絡先を記載のうえ、郵送またはファックスにて右記まで。（連絡先は掲載しません。掲載分には薄謝贈呈）

あて先

〒060-0002 札幌市中央区北2条西17丁目
北海道美術館協力会 事務局「会員の広場」
ファックス: 011-644-4025



第51回学生美術全道展

平成二年一〇月三日～七日

市民ギャラリー

今年度は、絵画・版画・彫刻・工芸の四部門に三二〇点の応募があり、この中から女子美術大三年、宮下真理子さんの彫刻、「還る場所」が最高賞の全道美術協会賞・道美術館協力会賞に選ばれた。

表彰式のスピーチでは「学生ならではのパワー



第3回道展U21
平成二年二月一〇日～一四日
市民ギャラリー

道展U21は、道内の15歳から21歳までの若年層を対象とする公募展（北海道美術協会主催）である。

今回より後援団体として優秀作品のひとつに「北海道美術館協力会賞」の贈呈を行うことになり、札幌稻雲高校の笹村美穂さんの油彩「くうねるところにすむところ」に賞品の盾を贈呈した。



北海道美術館協会賞の盾



受賞作品「くうねるところにすむところ」



第51回学生美術全道展
北海道美術館協力会賞作品
『還る場所』
宮下真理子（女子美術大学3年）

をぶつけた。制作には約半年かかり、大学からの搬入は両親に手伝つてもらつた。まわりで支えて下さつた方々に大変感謝している。これからも作品をつくることにより、自身を成長させていきたい」と語っていた。

新会員紹介

2009年8月～2010年2月(敬称略)

ご入会ありがとうございました

8月
札幌市 佐藤 栄一
〃 佐藤 好子
〃 木村 寿賀子
〃 西 秀樹
〃 大泉 悅子
〃 桑野 幸枝
〃 佐々木 はるよ
〃 斎藤 恭子
〃 浅井 恭子
〃 尾崎 武治
〃 来海 千織
〃 長瀬 公昭
〃 長瀬 崇子

札幌市 鈴木 紀子
西宮市 竹山 政美
9月
札幌市 定政 みち子
〃 小野 英之
〃 小野 幸江
〃 永田 理子
〃 藤本 のぶ子
10月
札幌市 中谷 韶
〃 渡邊 浩
〃 南畠 知子

札幌市 佐藤 瞳子
〃 武田 智恵子
11月
札幌市 菅原 敏子
〃 荒川 敬子
〃 武田 洋佑
〃 佐々木 邦佳子
〃 菊池 秀誠
北見市 安藤 誠子
〃 安藤 直子
芦別市 増田 富美子

12月
札幌市 佐藤 公一
〃 中村 安花果
2月
札幌市 田辺村 孝絹宰
〃 鶴渡木 蓉富
〃 木竹重澤
〃 竹藤薰
俊予子子子薰

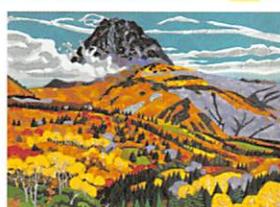
「近美」福袋 プレゼントに協力



北陸道立近代美術館
新作絵はがき
一部紹介

北陸道立近代美術館では、1月5日から10日の間、道立近畿美術館で開催中の「アミコーズ」展に、北陸道立美術館協賛券などを用意して、北陸道立美術館協賛券を購入された方々に、北陸道立美術館の新作絵はがきをプレゼントします。

道立近代美術館 新作絵はがき 一部紹介



北岡文雄「羅臼岳錦秋」1989年



国松 登
「星月夜」1991年



深井克美
「バラード」1973年



「ランナー(未完)」
1978年



三岸節子「摩周湖」1965年



柄内忠男「灯」1959年

第28回 海外美術研修

2009.9.1~9.10



エンパイアステートビル
から望むニューヨーク市街



イサム・ノグチのオブジェ
「レッドキューブ」



世界で一番早く開発された
ボルチモアウォーターフロント

事務局から

会員証の更新はお済みですか？更新手続きは、美術館1階売店でも扱っております。展覧会鑑賞におこしの際は、お気軽にお立ち寄り下さい。

アルテピア会員（個人・法人）入会のお誘い！

道内の美術情報をより多くの方にお伝えするために、会員皆様には引き続きご友人やお知り合いの企業・団体への当会入会へのお誘いをして下さるようお願い申し上げます。

アルテピアのホームページは…<http://www.artepia.or.jp>

編集だより

法人設立30周年の特集記事として企画、実施された記念事業をp2.3に見開きで紹介しました。当初設立された美術館協力会の歴史と取り組みが見られるよう編集に工夫を凝らしました。

この会報アルテピアは会員と美術館相互の架け橋となっています。「アルテピア・サロン」は会員の声が反映され、紙面をさらに楽しんでいただけるよう企画しました。お喋りをする感覚で、どうぞお気軽にお投稿して頂けたらと思います。

バンクーバーで開催された冬季オリンピック。世界中が燃え、計り知れない努力をしてきた選手の世界最高の競技を見た時の感激が、今でも鮮明に思い出されます。私達もよりチームワークを大切にし地味な努力が、アルテピアの発展につなげられるよう頑張りたいと思います。（U）

「本願寺(西本願寺)あ・れ・こ・れ」

4月の近美は「本願寺展」。壮大な歴史絵巻をひもとく！
その前に、「本願寺あ・れ・こ・れ」をご一読ください。

○本願寺基本知識

浄土真宗本願寺派の本山、親鸞聖人が開いた本願念佛を継承する。親鸞聖人の廟堂(墓地)が京都東山に創建されたのが始まりで、各地に寺基を移転した後、1591(天正19)年に七条堀川の土地を豊臣秀吉より寄進され、1633(寛永10)年には、ほぼ現在に近い姿になった。境内には阿弥陀堂・御影堂をはじめ、桃山文化を代表する建造物や庭園があり、1994(平成6)年、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)により世界文化遺産に登録された。

○親鸞聖人

鎌倉時代初期の僧、浄土真宗の開祖。おり名は「見真大師」、自らを「愚禿」と称し、阿弥陀仏への絶対的信仰を往生の要義とした。

○大遠忌(だいおんき)

本願寺では親鸞聖人の命日にあたり毎月15・16日を「宗祖聖人月忌法要」、50年毎の節目には「大遠忌」と称して年忌法要を営む。2012(平成24)年は、年忌法要として「750回大遠忌」が開催される。

ひとくち メモ

